



続・高齢者の移動手段、どう確保する

デマンドタクシーの実証実験始まる

これまで、島内交通（船や飛行機を降りてからの交通手段）については、様々な課題が指摘されていて、何人かの議員に要望が寄せられていました。

島内交通の課題 住民からは、「乗合バスの運行本数が少ない」「バス停から目的地までの距離がある」「自宅からバス停までが遠い」「タクシー料金がなくて日常的には使えない」などの声があがっています。また、観光客からは「レンタカーを利用しないと移動手段がない」「乗合バスの運行本数が少ない」「バスの停留所が観光スポットの近くにない」「タクシーの予約が取りにくいし、料金が安い」などの指摘があります。

その声を受けて こうした指摘を受けて、町も都も、住民や観光客の要望を把握する必要があると考え、対策に乗り出しました。全国的にもこの10年でさまざまな取り組みが行われていて、デマンド交通の導入は2020年度までに700市町村まで増加しています。導入した自治体としては、「利用者ゼロでもバスを走らせる」という状況の改善にもつながっているようです。

デマンドタクシー始まる 東京都の補助による今回の実証実験は、予約制の乗合タクシーを走らせて島内交通の課題を洗い出し、移動しやすい町づくりと新しい移動手段を確保するのが目的です。期間は1月23日から2月22日までの1ヵ月。

私は1月18日午後の説明会に参加しました。「雨の多い八丈島ではバス停まで行くのが困難なので、やはりドア・ツー・ドアでないと利用できない」と要望しましたが、今回はまずは実証実験で課題を検討するとのことでした。

試乗しました 2月3日と8日、町役場から八丈ストアの往復を試乗しました。予約は電話とスマホアプリで行いました。時間通りに到着したのは8人乗りの大型タクシーで、利用者は車内で簡単なアンケートに答えます。運転手に利用状況を聞くと、毎日10件ほどの予約が入り、高齢者よりもむしろアプリを使いこなせる若い人が利用していて、車の免許がないお母さんが子供と一緒に利用することもあるそうです。アプリは夜中でも予約ができて便利ですが、登録は少しむずかしいと感じました。

利用しやすい仕組みに 高齢者はやはり電話の方が利用しやすいということで、今は電話とアプリの両方で予約できるようになっています。交通手段がない若い人も観光客も利用できる方法を探る必要があります。これからはアプリを使った利用が主流になりそうですが、登録するにはハードルが高いので、一人一人

をどう支援するかが課題です。高齢者が多く、また観光地でもある八丈町にあった仕組みを見つけるために、こうした実験を何度か続けてほしいと思いました。



新しい議会へ

議員定数が12人に削減され激戦となった昨年10月の町議会議員選挙は、新人議員が4人当選しました。議会の変革を求める住民の声が反映されたものと思います。

新しい議会編成

10月26日には臨時議会が開かれ、議長は山本忠志氏、副議長が浅沼憲春氏に決まりました。議会活動の要となる常任委員長は、総務文教委員長に浅沼隆章氏、経済企業委員長に岩崎由美氏が決まり、議長の任を終えた私は、今回、議会運営委員長になりましたので、住民に開かれた議会を目指して一歩ずつ改革を進めていこうと思っています。議会基本条例の制定についても、協力的な議員が多く、意欲のある議員の思いを形にしていく責任を感じています。

議会だより

前号までは女性4人による編集でしたが、今回は、浅沼碧海、真田幸久、山下則子の各議員と私（編集委員長）が担当することになりました。新人議員が2人入って新たな視点が加わり、内容が多様になるとおもわれます。



青鳥特別支援学校八丈分教室の学校見学会

昨年の11月24日（火）午前10時～11時半に予約し見学しました。前回は、午後の実習時間を見学しましたが、今回は国語の授業でした。宮沢賢治の教材を大きなパネル画面に写して、ひとりひとりに合わせて進めていました（写真右）。



この日は、休んだり上京したりしていて人数が少ないので、2年生からKくん、1年生からJくんの2人の合同授業でした。先生のていねいな対応で、楽しそうに学習している姿を見ることができました。

八丈分教室副校長の小栄先生の説明では、現在の分教室の在籍は5人ですが、来年度も入学生がいることや、様々なイベントを中学校と合同で行うなど、分教室と中学校の連携にも力を入れているとのこと。この教室が続いていくために大切な取り組みだと思いました。



実習の様子がタブレットで紹介されていました

今直面しているのは、卒業後の就労に関する課題です。現在でも授業の一環として試験的に生徒を受け入れている島の事業所もいくつかありますが、実際の就業につなげるためには、さらなる努力が必要です。町もその後押しをしなければなりません。

民間事業所への働きかけと、町や高校の連携が何より重要だと思いました。

八丈島地熱発電利用事業

オリックスが説明

跡地の取得、地表調査、掘削とようやく事業の進展が見えてきたところ、昨年6月に行われた噴気試験で生産能力が確保できなかったことが明らかになりました。それを受け、町長がオリックスを訪ね、議会で説明するよう要望しました。

2月7日、オリックスの担当者が来島し、議会で現状と今後の対策を説明しました。会社は敷地内の別の場所を掘削すること、事業は振り出しにもどったことになります。

地熱発電が動きだすには、あと3～4年はかかりそうです。



2022年12月議会 一般質問



1. 給食センターの労働環境と施設の改善を

町の給食センターも、築後29年を経過し、故障や修理が必要な部分も出てきていて、毎年のように機器の入れ替えや修理を繰り返している。2022年の夏は例年になく暑かったように思う。施設内の気温は40℃、湿度は100%になる。しかも熱源をたくさん使う作業。熱中症になってもおかしくない状況が常態化している。学校給食は児童、生徒の食育に欠かせない重要な役割を担っている。その質の維持と安定をはかるために、以下の質問をする。

問 冷房機器を設置すること。

答 冷房機器の導入は令和6年度設置を計画していたが、建物の構造上予想外に大規模な工事になる。その際、長期にわたり給食提供を停止する必要がある、冷房機器の設置は困難な状況にある。

問 作業人員の確保への対策は。また、民間業者との契約のいきさつを伺う。

答 必要な人員の確保については、委託業者が決めている。町直営の調理と配送業務を、行政改革の一つとして民間に委託した。

問 冷房機器の設置は喫緊の課題。ぜひ来年度の夏までに実現させるべき。

民間業者との契約は、本来は入札で行うべきもの。ただ、給食の質を保つには慣れた業者が継続して担うのが得策で、今後も連携を密にして随意契約を維持すべきと考える。

答 随意契約は維持する。給食を停止しないで環境を改善するために、善後策を検討したい。



2. 島しょ地域農業DX推進事業で町は何を目指すか

令和4年度の東京都の事業説明で、島しょ地域農業DX推進事業の提案があった。実施内容は、「DXを駆使したスマート畜産業」の検討調査で、予算は今年度1,000万円（事業は3年）。八丈島の場合は、観光業とも関連しているので、この事業をきっかけに畜産業の改善に力を入れてほしいと考え、質問する。

問 町は何を目指してどのような事業を行うのか。

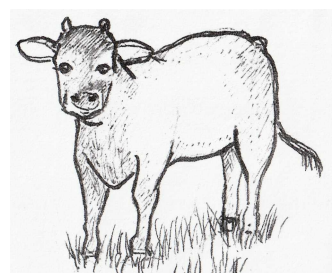
答 目指すは、牧場の牧区の整理を行い、放牧牛の2倍の100頭に増やすこと。スマート畜産の技術を取り入れ効率的な牧場運営を目指したい。

問 令和4年度はすでに半年以上経過しているが、事業は進んでいるか。

答 今年度については、島しょ全体の畜産業を対象としてスマート畜産業の検討調査を実施している。

問 そのための、具体的な事業内容を明らかにしてほしい。牧場についての、長年の課題は電力と水の供給がないこと。都の補助事業をきっかけにこれを解決する事業を考えてほしい。

答 都の調査結果が出てから事業内容を決めたい。ただ、実施するには期間が短くなってしまうので、事業延長の要望を議員皆さんとともにやりたい。



給食センター見学



一般質問の前、11月17日に給食センターを見学しました。対応してくれた町教育課職員の大沼さん、都の栄養士大崎さんの話では、根本的な大修理をするには給食の一定期間の中止が不可欠であり、予算も大規模になるので、町は別の場所に新築するのが得策だと考えているとのこと。私も当然だと思いますが、何より今、労働環境をどう改善するかが重要です。

町は、扇風機が入った食品工業用の空調服を各人に提供することで対応するとのことですが、根本的な解決策がないまま、職員の健康を守りつつ、夏をどう乗り越えるのか注視したいと思います。

補正予算・決算審議から

●**街路灯管理費の減額** 街路灯を維持管理する委託費が減額されている理由を聞くと、照明をLED化したためとのことでした。引き続きLED化を進めてほしいと要望しました。

●**町の公衆トイレ** 町の公衆トイレの洋式化が徹底できていないことを指摘しました。町の答えは、スペースがある場所では洋式に変えていくが、できない箇所もあり、和式の要望も一部あるのですべては変えられないとのことでした。

●**ロードレースのおもてなし** 3年ぶりに実施されたパブリックロードレース。

イベントの魅力のひとつが婦人会による料理の懇親会と温泉への送迎です。今回はともに中止。会費はこれまでと同額の4,600円。これで参加者は納得できるのでしょうか。

例年とおりのメニューを実現できないのであれば、少し値下げするとか、お弁当などにしておもてなしができなかったか、と訴えました。

町は、様々な意見を聞いて今後は改善したいと答えました。

新しくなった空港の駐車場

八丈島空港の駐車場の工事が済んで、駐車台数はこれまでの約270台から約410台に増えました。ただ、送迎レーンがなくなったので、どこに駐車すべきなのかが分からないとの声が多くあがりました。年末年始の繁忙期だったので混乱があったようです。

支庁に問い合わせたところ、同様な声が届いているので、東京都としては、看板を立てる、方向を示す矢印を増やすなど、人の往来が増える春の異動時期に間に合うように対処するそうです。私たちも新しい駐車場に早く慣れていく必要がありますね。



編集後記



何から何まで値上げされています。スーパーで買い物をしても支払い時にこれまでの額との差にびっくり。電気料金はとくに激しい。町の予算案でも、電気料金は従来の1.5倍になると予想しています。無駄はないのか、どこを減らせるのか、町の事業についても家庭でも知恵を絞って対策を考えましょう。私は、昼、誰もいない家の照明をすべて消すことや、室温をチェックしてエアコンを使うなど、ささやかですが取り組んでいます。